

誘導基準適否

チェックリスト

設計者：

資格番号：

建築主：

地域の区分

⇒P.34～35

◎建設地の地域の区分を確認してください。

2

地域

1

断熱材の熱抵抗R

⇒P.10～15

◎断熱する部位と採用する断熱工法によって基準値が異なります。

◎断熱する部位とその部位の断熱工法をチェックし、「断熱材の製品名と厚さ」及び「熱抵抗 R」を記入のうえ、基準適否を確認してください。

◎1つの部位で複数の断熱工法を採用する場合は、それぞれの工法ごとに基準値を満たす必要があります。

◎1つの部位に複数の仕様がある場合は、性能が低い仕様（熱抵抗 R が小さい方）について記入してください。

◎該当する部位がない場合は、「該当部位なし」にチェックをしてください。

部 位	断熱工法の基準値	断 熱 材 の 製 品 名 と 厚 さ		熱 抵 抗 R [m・K / W]	適 否 確 認		
					該 当 部 位 な し	適 合	不 適
屋 根	☐ 軸組充填：R≧6.9 ☐ 枠組充填：R≧6.9 ☐ 外 張：R≧6.3	製品名（又は断熱材の種類）	厚さ	R	☐	☐	☐
天 井	☐ 軸組充填：R≧5.7 ☐ 枠組充填：R≧5.7 ☐ 外 張：R≧6.3	製品名（又は断熱材の種類）	厚さ	R	☐	☐	☐
壁	☐ 軸組充填：R≧4.0 ☐ 枠組充填：R≧4.0 ☐ 外 張：R≧3.8	製品名（又は断熱材の種類）	厚さ	R		☐	☐
床 （外気に接する部分）	☐ 軸組充填：R≧5.0 ☐ 枠組充填：R≧5.0 ☐ 外 張：R≧4.5	製品名（又は断熱材の種類）	厚さ	R	☐	☐	☐
床 （その他の部分）	☐ 軸組充填：R≧3.3 ☐ 枠組充填：R≧3.3	製品名（又は断熱材の種類）	厚さ	R	☐	☐	☐
土間床等の外周部分の 基礎壁 （外気に接する部分）※	☐ 軸組充填：R≧3.5 ☐ 枠組充填：R≧3.5 ☐ 外 張：R≧3.5	製品名（又は断熱材の種類）	厚さ	R	☐	☐	☐
土間床等の外周部分の 基礎壁 （その他の部分）※	☐ 軸組充填：R≧1.2 ☐ 枠組充填：R≧1.2	製品名（又は断熱材の種類）	厚さ	R	☐	☐	☐

※玄関、勝手口等の土間床部分の断熱を省略する場合には、当該部分を除く基礎壁について確認してください。

2

開口部(窓、ドア)の熱貫流率U

⇒P.22～23

◎「製品名」及び「熱貫流率 U」を記入のうえ、基準適否を確認してください。

◎複数の仕様がある場合は、性能が低い仕様（熱貫流率 U が大きい方）を記入してください。

部 位	基 準 値	製 品 名	熱貫流率 U [W/(m ² ・K)]	適 否 確 認	
				適 合	不 適
窓	U ≦ 1.9	製品名（又は建具とガラスの種類）	U	☐	☐
ドア	U ≦ 1.9	製品名（又は枠と戸の種類）	U	☐	☐

3

設備機器の仕様

⇒P.24～25

※設備機器の仕様は次のページへ記入

暖冷房設備

右記のいずれかを選択

☐ 住戸全体を暖冷房

☐ ダクトセントラル空調機で、以下の全ての仕様に該当すること

☐ ヒートポンプ式熱源

☐ 可変風量制御方式（VAV 方式）であるもの

☐ 断熱区画内に全てのダクトを設置するもの

☐ 熱交換換気設備を採用

☐ 居室のみを暖冷房

主たる居室 設置する居室をチェックしてください。（その他の居室がない場合は主たる居室のみ）

暖房

冷房

☐ パネルラジエーターで以下のいずれかを熱源とし、かつ配管に断熱被覆があるもの

☐ 石油潜熱回収型温水暖房機【エコフィール】

☐ ガス潜熱回収型温水暖房機【エコジョーズ】

☐ 電気ヒートポンプ温水暖房機（フロン系冷媒に限る）

☐ ルームエアコンディショナーで、エネルギー消費効率の区分が（い）のもの

（1、2地域は、熱交換型換気設備を採用すること）

☐ ルームエアコンディショナーで、エネルギー消費効率の区分が（い）のもの

換気設備

右記のいずれかを選択

☐ 熱交換型換気設備を採用しない

以下のいずれかの設備機器であること

☐ 比消費電力（熱交換換気設備を採用する場合にあっては比消費電力を有効換気量率で除した値）が0.3[W/(m³/h)]以下の換気設備

☐ ダクト式第一種換気設備で、ダクト内径が 75mm 以上で、かつ DC モーター（直流）のもの

☐ ダクト式第二種 又は 第三種換気設備で、ダクト内径が 75mm 以上のもの

☐ 壁付け式第二種 又は 第三種換気設備のもの

☐ 熱交換型換気設備を採用する

以下の全ての仕様に該当すること

☐ ダクト式第一種換気設備で、ダクト内径が 75mm 以上、有効換気量率が 0.8 以上で、かつ DC モーター（直流）のもの

☐ 温度交換効率 が 70% 以上のもの

給湯設備

右記のいずれかを選択

☐ 石油潜熱回収型給湯機【エコフィール】のモード熱効率 84.9% 以上のもの

☐ ガス潜熱回収型給湯機【エコジョーズ】のモード熱効率 86.6% 以上のもの

☐ 電気ヒートポンプ給湯機【エコキュート】の JIS 効率 3.3 以上のもの

[共通条件]

分岐後の全ての配管径が 13A 以下のヘッダー方式、浴室シャワー水栓に手元止水機構 及び 小流量吐水機構を有する節湯措置、高断熱浴槽の採用

照明設備

☐ 全ての照明設備が LED である

誘導基準への適合確認のプロセス

1 断熱材の熱抵抗R

2 開口部(窓、ドア)の熱貫流率U

3 設備機器の仕様

すべて「適合」又は「該当部位なし」を選択

すべての設備でいずれかの仕様を選択

誘導基準「適合」となります。

誘導基準適否

☐ 適合

☐ 不適

出典(国交省):木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック【誘導基準編】(1～3地域版)

出典(国交省):木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック【誘導基準編】(1～3地域版)
木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック【誘導基準編】(4～7地域版)